チェックポイント③　小川水衛所跡

小川水衛所跡とは？

水衛所とは、江戸市中への水を確保するため、水番人と呼ばれる人が常駐していた場所です。水番人は、玉川上水に流れる水量の確認や周辺の巡回、流れてくる落ち葉の掃除などを行っていました。
小川水衛所跡には散策路が整備されています。かつて水番人が守っていた玉川上水に思いをはせながら、散策を楽しむことができます。



行き方

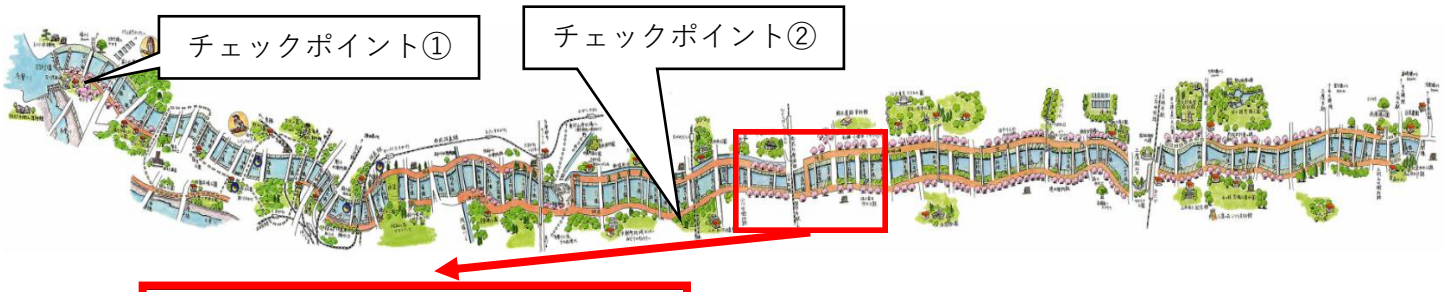
西武多摩湖線
一橋学園駅南口から　徒歩約15分

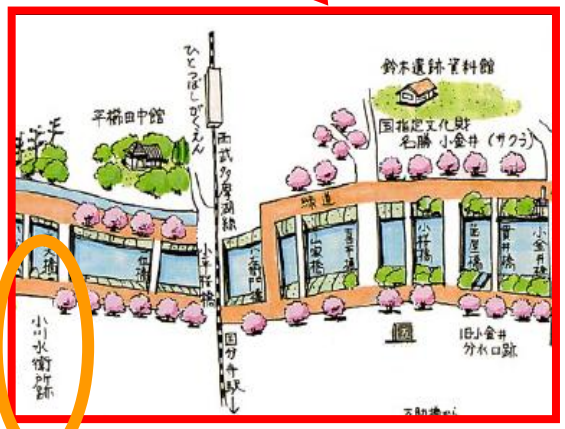
①西武多摩湖線一橋学園駅南口を出て、南へ道なりに直進します。
②650m（約8分）ほど直進すると、小平桜橋に差し掛かります。
③右折し玉川上水沿いを700m（約8分）ほど進むと小川水衛所跡に到着します。

さらに見どころ！小金井桜！

玉川上水沿い6kmに渡って植えられたヤマザクラは「小金井桜」と呼ばれ、江戸近郊の桜の名所として古くから親しまれてきました。小川水衛所跡から約３km下流に歩けば小金井桜の植えられている区間なので、秋には紅葉、春には桜を見ることができます。
さらに、小金井方面に歩くと小金井公園もあるので、足を運んでみてはいかがでしょうか。

〈玉川上水全体図〉





スマートフォンの地図アプリで

「小川水衛所跡」

と検索しても、道順がわかります！

〈一橋学園駅から小川水衛所までの道順〉

